

北海道議会議員  
安住たかのぶ  
活動報告

# アズミライ

azumirai  
magazine

05

produced by Azumi Takanobu office

## 安住の「初」通信簿!?

皆さま、お変わりありませんか?

さて、今号では、道議1年目の安住の仕事ぶりを振り返ってみます。

これまで、アズミライの中でもお伝えしてきた「質問」はその後、どのように取り扱われたのでしょうか?主な項目を取り上げ、第2回定例会の概要とともに、お伝えしてまいります。



### 【議会での質問の場面】

さて、「質問」の場面は大きく2つ。「本会議での質問」と「委員会での質問」です。

「一般質問」と呼ばれるのが前者。道政に関し何でも聞くことができます。

よく耳にする「代表質問」も実は「一般質問」の一種。年度の施策方針や知事の政治姿勢など、時々主要課題につき会派を「代表して」知事(教育長等)に問いたですので代表質問と呼ばれます。

一方、委員会質問は委員会の所管事項に限られます。たとえば、農政委員会で税制のことは聞けないといった具合です。

用語として混乱しがちなのが「質疑」。これは、提案された「議題」につき問いたすことをいいます。なので、会議の別によらず、質疑は質疑です。

### 【質問・質疑の機会】

では、質問・質疑は、いつ、どのように行うのでしょうか?

原則、開会中に「口頭」で行います。国会では「質問主意書(しゅいしょ)」といて、開会中であればいつでも、内閣に対し「文書」で質問できますが、道議会では病気など特別な事情がある場合を除きできません。

なお、質問や質疑をする場合その項目を、道側が分かるよう事前に伝えるのがルールです(=「通告(つうこく)」)。

あとは、「時間の制約」があります。

たとえば、一般質問は一人あたり20分。また、会派の所属議員数に応じた比例配分で、定例会ごとの質問者数が決まります。なので、どうしても出番は限られてしまうのです。



次ページへつづく

この1年で安住は、2定(H27年第2回定例会)～約30問、3定(同第3回定例会)～約50問、4定(同第4回定例会)～約20問、1定(H28年第1回定例会)～約10問、建設委(建設委員会)～約10問、エネ特委(産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会)～15問と、100問を超える質問を行い、様々な提言を重ねてきました。内、主なものを取り上げ、その趣旨、道側の答弁とその後の対応や予算措置状況につき、概要をお知らせします。

## 2定【一般質問】

6月30日

### ★健康長寿社会の実現と医療制度改革について

47都道府県中33位前後と振るわない健康寿命の10ランクアップは知事公約。知事の決意や具体的な取組と課題、持続可能な国保制度の確立などにつき質問。

#### <知事の答弁>

主体的な健康づくりを支援する「マイレージ制度の導入」や「健康・長寿産業の振興」などに重点的に取り組みながら、健康・長寿の北海道を着実に築いてまいる。

#### <対応と予算措置>

健康マイレージ事業(新規～H28年度予算1,225千円)

### ★健康長寿産業の振興について

健康増進に寄与。雇用創出等の経済効果も生み、まさに本道を元気にする健康長寿産業振興の具体的中身や研究蓄積への支援、統合医療推進などにつき質問。

#### <知事の答弁>

地域資源を活用したヘルスケアビジネスの創出や事業者の育成を支援するなど、幅広い視点での取り組みが必要。

#### <対応と予算措置>

地域連携型ヘルスケアビジネス創出事業(新規～H28年度予算10,000千円)

### ★観光振興について

滞在交流型観光振興に向けた地域ごとの面的な回遊ルートづくり、海外資本との連携と地元事業者育成支援のあり方、医療ツーリズム推進などにつき質問。

#### <経済部 観光振興監(部長級)の答弁>

本道の自然や食を活かしたニューツーリズムの一環として、ヘルスツーリズムなどについて検討を深めてまいる。

#### <対応と予算措置>

上士幌町、伊達市へのヘルスツーリズム取組支援(新規～H28年度予算2,500千円)

## 3定【予算特別委員会質問】

9月25日、28日、29日

### ★地域医療について

産科医不足を補うための助産師活用など医師不足対策や、道立病院の経営改善に向けた公営企業法全部適用への移行などにつき質問。

#### <保健福祉部 医務薬務担当局長の答弁>

北海道医師会や助産師会等の関係団体と意見交換を行うなどして、状況把握に努めてまいる。

#### <対応と予算措置>

助産師出向調査等(新規～H28年度予算2,118千円)

### ★水道事業における小水力発電の導入について

再生可能エネルギー普及に加え、水道事業経営改善にも資する小水力発電。道の積極的な導入推進を求め質問。

#### <環境生活部 環境局長の答弁>

道内の水道事業における小水力発電の導入が促進されますよう努めてまいる。

#### <対応と予算措置>

水道事業者に対する説明会の実施と情報提供(新規)

### ★社会基盤としての道立高校について

地方存続の前提となる「社会基盤」としての道立高校づくりの課題、北海道版「探求科」設置などにつき質問。

#### <総合政策部 政策局参事(課長級)の答弁>

京都市立堀川高校探求科(のような)、全国のさまざまな事例につき情報収集をしながら、魅力ある高校づくりに向けた研究を進めていく必要があると考えている。

#### <対応と予算措置>

多くの道立高校において、アクティブラーニングを念頭に置いた探求型学習に取り組んでいる。(道教委)

### ★新電力の導入について

再生可能エネルギー普及と電気料金削減を狙った新電力導入につき、道全体での積極的な推進を求め質問。

#### <総務部長の答弁>

導入施設の選定や契約方法などにつき、教育庁や道警察本部と情報を共有するなど連携をとりながら、電気料金の削減に努めてまいる。

#### <対応と予算措置>

振興局庁舎等77施設、高校および美術館等6施設、道警本部庁舎で新たに導入(新規)

## 建設委質問

11月4日

### ★アスベスト対策について

改正石綿規則のH26年施行に伴うアスベスト対策強化以降の道の対応状況や課題、今後の取組につき質問。

#### <建設部 建築局長の答弁>

道民の皆様が安心して道有施設を御利用いただけるよう、関係部局と連携を図りながら、施設の適切な維持保全に努めてまいる。

#### <対応と予算措置>

即時の年内調査実施(翌年2月委員会で結果報告)

## 4定【予算特別委員会質問】

12月4日

### ★難病対策について

難病法H27年施行を受け、居所に関わらず良質・適切な医療が確保され療養生活の質の維持向上が図られるよう、難病相談支援センター設置などにつき質問。

<保健福祉部長の答弁>

難病に悩む方々に対し、地域が一体となって支援する体制の充実など、難病対策の一層の推進に努めてまいる。

<対応と予算措置>

難病連旭川支部との意見交換、難病対策地域協議会の設置(新規~H28年度予算2,363千円)

★子どもの貧困対策について

子どもを貧困から救い出すため、奨学金制度の抜本的見直しをはじめ、対策の拡充強化などにつき質問。

<保健福祉部 少子高齢化対策監(部長級)の答弁>

さまざまな困難や課題を抱える子どもたちが、その生まれ育った環境に左右されず、教育を受ける機会が確保され、自分の能力や可能性を最大限伸ばしていけるよう、各般の施策に全力で取り組んでまいる。

<対応と予算措置>

児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業(新規~H28年度予算364,839千円)

★手話言語条例(仮称)について

「手話は言語」との法や批准条約の理念に則った手話言語条例(仮称)制定と同時に、意思疎通に困難を抱える方々への配慮と支援を定めるコミュニケーション支援条例(仮称)制定を求め質問。

<保健福祉部長の答弁>

単独条例とするかどうかも含め、条例に規定するコミュニケーション手段などの検討を進め、障がいのある方もない方も互いに理解し合いながらともに暮らす社会の実現に向け、関連する条例の整備に取り組んでまいる。

<対応と予算措置>

意思疎通支援部会等で条例の内容等、検討(継続)

エネ特委質問

H28年2月3日

★新エネルギーの導入拡大について

新エネルギー、再生可能エネルギー導入拡大に際し、最も課題となる出力変動への対応力をどう持つべきか対策を提案しつつ、今後の具体的取組につき質問。

<経済部長の答弁>

北電においても、(略)新エネルギーの導入拡大に積極的に取り組むよう要請するとともに、新エネルギーの導入に取り組もうとする道内の事業者の方々に対し、今後とも必要な支援を行ってまいる。

<対応と予算措置>

北電に対し、導入拡大への積極的対応を要請(新規)

1定【一般質問】

3月8日

★視覚障がい者等の交通安全対策について

バックするトラックにはねられ、盲導犬共々視覚障がいの方が亡くなったH27年10月の徳島での事故を受けた対応、安全確保に向けた条例制定などにつき質問。

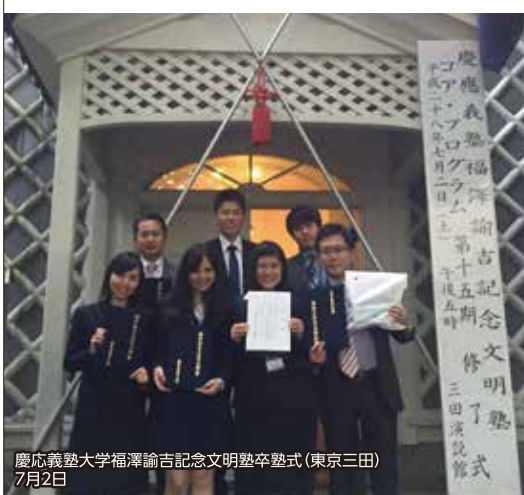
<知事の答弁>

トラック協会をはじめ、関係団体等を通じて個々の企業やドライバーの方々に周知徹底していただくよう呼びかけるなど、交通安全対策7者連絡会議と連携して、視覚障がい者をはじめとした歩行者の安全確保を図ってまいる。

<対応と予算措置>

後退警報装置の確実な作動等に関する周知要請(新規)

通信簿、いかがでしたか?私は、ドキドキしながら親に渡した少年時代を思い出しました(笑)。うーん...その緊張感、やつぱ、大切ですね!



慶応義塾大学福澤諭吉記念文明塾卒業式(東京三田) 7月2日



大会顧問として「スターター」 5月22日

活動日誌 azuming

いろんなところで、いろんな人たちと。



がん対策推進についての勉強会 6月21日



旭川のこだわり食材を発信する会(東京銀座) 6月10日



東五条小学校「五条っ子夏祭り」 7月23日

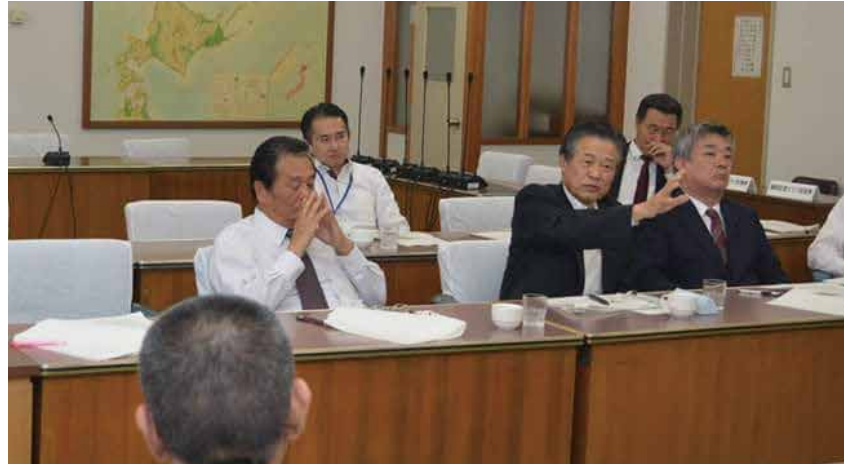


安住塾 7月14日



安住と考える会 7月12日

## 平成28年 第2回定例会



### ～あらし～

第2回定例道議会が6月21日(火)に開会。議員辞職に伴う補選実施費用2千6百万円を含む総額29億5千400万円余の平成28年度補正予算案および計25件の議案、計6件の報告案件が知事から提案されました。

一部議案(地方税法の改正により道税における車体課税が一税目化されること等に合わせ、自動車税等の軽減措置の制度統一を行うとともに、インターネットを通じて納税ができるよう規定を整備する条例案等)に対し日本共産党会派から反対があったものの、賛成多数で原案通り可決。また、議会提案の意見案・決議案16件を可決し、7月8日(金)閉会となりました。

### ～会派所属議員による質疑・質問～

「北海道結志会(ゆうしかい)」の代表格一般質問には赤根広介政策審議会筆頭副会長(登別市)が立ち、消費税率引き上げの再延期への対応や女満別空港を含む道内空港民営化などについて知事の考えをたぐすとともに、教育問題、警察行政について、教育長、警察本部長に質問しました。

また、予算特別委員会には、金岩武吉議員(日高地域)、中山智康議員(伊達市)、赤根広介議員(登別市)、新沼透議員(オホーツク西地域)の4名が入り、それぞれ当面する道政課題、地域課題について道の取組みをたどりました。

### ～道国保運営協議会(設置)条例が可決～

国民健康保険法改正により、平成30年度以降、国民健康保険事業(以下、国保)の運営主体が市町村から道に移ります。昨年、初の一般質問で、その課題や対策につき、知事に質問しましたが、この度、移管に向け、道国保運営協議会設置条例が制定されました。

法改正を受け、予防や健康づくりに積極的に取り組む自治体には、財政支援が強化される見通しです。安住が訴えてきた健康増進等の取組を通じた「医療費抑制」施策の重要性、必要性がさらに増すこととなります。

一人あたり道民医療費が47都道府県中6位と高い割に健康寿命では33位と低い北海道。お金が掛かっているのに思うような健康が手に入らない道では困ります。引き続き安住もしっかりと、この問題を追いかけてまいります。

コラム

### ～そのこだわりは誰のため?～

自民党会派を中心に提案された「冬季オリパラ招致に関する決議(略)」案に対し共産党会派から、「過大な財政負担によらない」旨の文言を盛り込むべきと提案されたことで、随分ともめました。

方や「手を上げるのは札幌市。それを北海道全体で応援していこう」という趣旨。その一体感醸成に水を差しかねない文言をわざわざ入れる必要はない。どのみち、道として支出が求められる場合は議会に提案され、厳しくチェックすることになるのだから」と譲らず、方や「東京オリンピック開催に向けた新国立競技場建設等に向け支出は右肩上がりに増加。道の招致活動に際しそれが繰り返されないとはい限らない。一言入れるべき」と譲りません。

最終的に共産党会派は反対を表明し、単独で別な決議案を提案。当該文言の行

を除き同じ決議案を別々に採決するという事態に至りました。

互いに譲らなかったそのこだわりは「誰のため」のものだったのか…?

異なる意見を一方的に排除するようでは「言論の府」として笑われます。

ですが、丁々発止、それぞれの意見を激しく戦わせながらも、最後は、議会全体としての成案や結論を得るべく議論を収束させていくことも、議会に期待されている大きな役割と学んできました。

「真に道民のためになることか?北海道、そして、故郷のためか?」と自らに問い掛けることを決して忘れず、また、「ウォームハート、クールヘッド」の言葉を胸にこれからも、自らを磨き、しっかりとした判断力を養っていきたく強く思っています。

